

宗 像

遷宮で結ぶ人の輪心の輪 第六十二回神宮式年遷宮

平成二十一年・己丑

年頭挨拶



宗像大社 宮司 神島 定

新年おめでとうございます。神郡むなかたより、聖寿の万歳と皇室の弥栄、国家の隆昌、また氏子崇敬者皆様の御多幸を心から言祝ぎ申し上げます。

今上陛下におかれましては、昨年御即位二十年をお迎え遊ばされました。昭和天皇様のご聖徳を引き継がれ、国民の安寧を第一とし、国民の心の拠りどころとして今日をお迎え遊ばされました。この間

の様々なご労苦に思いを馳せますと、陛下の大御心に対し奉り奉謝の念に堪えません。

建国以来、我国は、皇室を国民の中心として戴き、君民一体となつて幾多の苦楽を分かち合

い共にし、平和を守ってきました。このような世界でも比類なき国柄が、永遠であつてほしいと切に願うのであります。

大東亜戦争終結後六十年以上たちますが、今なお我国の歴史、伝統文化、また父祖代々継承してまいりました日本精神

に対して、誹謗中傷を行い、善良な多くの国民を煽動する勢力が存在します。戦後、このような

勢力により我国の伝統的な国柄が傷つけられてきた感も否めません。同胞によつて自国が傷

つけられるのは、誠に悲



しい限りでございます。神道の世界では「言挙げせず」と申しますが、日本人は、必要以上には言葉を使いません。しかし、これでは前述

平成21年 元旦 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

- 宗像大社 責任役員会**
- 代表役員 神島 定
- 責任役員 出光 昭介、松尾 新吾、長尾 亜夫、麻生 泰夫、出光 浩二、田中 正明、清水 晃、谷 吉三郎、野村 直也、桑野 直也、松井 参伍、松井 守、清水 正敏、安部 照生
- 監事 藤田 茂令、久保 道
- 宗像大社 氏子会**
- 会長 村田 照生、副会長 大嶋 政夫、古賀 和敏、石橋 定雄、古賀 清文、古賀 善徳、古賀 善美
- 宗像大社 神・中宮 役員会**
- 会長 古賀 理、副会長 坂口 嘉一郎、石井 あゆみ、岡田 優希、菊池 重住、石津 典秀、岩佐 光二、吉田 弘、深田 仁、井上 光生、奥宮 種男、阿部 和代、竹本 百合子、西野 百合子、藤島 ツタエ、藤田 行子、藤田 達子、藤島 ツタエ、藤島 ツタエ

- 宗像大社 職員**
- 名譽宮司 義父 可守
- 宮司 神島 定
- 権宮司 高向 正秀
- 権宜 堤 宏
- 権宜 津津 幹之
- 権宜 渡邊 秀丸
- 権宜 杉山 安彦
- 権宜 佐々木 大治
- 権宜 中原 裕生
- 権宜 坂本 敬
- 権宜 御床 直之
- 権宜 大塚 宗延
- 権宜 長友 貞治
- 権宜 志岐 貴寿
- 権宜 松林 拓
- 権宜 吉野 理
- 権宜 日高 庸介
- 権宜 鈴木 祥裕
- 権宜 船越 裕介
- 権宜 清水 重矢子
- 権宜 白澤 佳緒里
- 権宜 小原 晶子
- 権宜 小方 麻紗美
- 権宜 北村 夏菜絵
- 権宜 松崎 理加
- 権宜 藤原 愛里
- 権宜 大坪 美鈴
- 権宜 葛屋 蘭
- 権宜 古賀 有加里
- 出仕 出光 昭介、松尾 新吾、長尾 亜夫、麻生 泰夫、出光 浩二、田中 正明、清水 晃、谷 吉三郎、野村 直也、桑野 直也、松井 参伍、松井 守、清水 正敏、安部 照生
- 巫女 夜警員、非常勤事務員、非常勤講師
- 花田 みどり、大野 展男、石井 あゆみ、岡田 優希、菊池 重住、石津 典秀、岩佐 光二、吉田 弘、深田 仁、井上 光生、奥宮 種男、阿部 和代、竹本 百合子、西野 百合子、藤島 ツタエ、藤田 行子、藤田 達子、藤島 ツタエ、藤島 ツタエ



のような勢力に反論を試みることも至難の業と感ぜられます。我々は、もう一度、我国の精神、文化を見直し再認識し、言葉に発しそれを行動に移して、一体となつて我国を守つ

ていこうではありませんか。悠遠なる歴史を持つ日本を我々の世代で途切れさせず、少しでも是正し、次代へ繋ぐことこそ肝要です。

世界に目を移しますと、昨

年も、アメリカの金融恐慌に端を発する世界的な不況、テロ等、様々な問題が数多く起こりました。現代は、急速に世界との距離が狭まっています。日本単体では、どうすることも出来ない事象も数多くあり、世界各国の協力が求められています。しかし、環境問題、テロ問題等その問題の多くは、各国各人の利己主義、宗教問題など、所謂「私」事が複雑に絡み合っており、容易には解決することは難しいでしょう。

また何事も合理性至上主義という現代的な考え方が、行き詰まっているという事は、皆さんも実感されているのではないのでしょうか。このまま放置すれば、世界に明るい未来は当然ありません。

現代社会に求められているのは「互いに譲り合い、互いに助け合う」という「互譲互助」の精神ではないかと思えます。「互譲互助」という精神は神道にも共通したものであり、民族発生以来、我国では尊ばれてきました。稲作を中心としていた日本では、人間で

はどのようにも出来ない自然を相手に生きてきました。そこに神という存在を人は感じ、また皆が一丸となつて自然と向き合ってきたのです。自然にまた隣人に生かされてきたといえます。これを、我々は見直さなければなりません。自分一人では生きてはいけないのですから。我国本来の姿に立ち返り、その本義を世界へ発信すべき時かと思慮いたします。

さて当社の昨年を顧みますと、先ず九月に、「沖ノ島を中心とする関連遺産群」が世界遺産の暫定リストに記載されました。正式に世界遺産に認められるのも遠くはないでしょう。これは、沖ノ島が東アジア最大級の祭祀遺跡であり国際的価値が認められた証拠です。当社にとりまして大変意義あることだと思います。

しかし、沖ノ島の神聖性は不変であります。先人が連綿と継承してまいりました「尊厳」と「禁己」を時代が変遷しようとも、護持することこそ私どもに課せられた使命であり責務です。大変なことでは

ありますが職員一同頑張つてまいります。

また二月の節分祭では氏子青年会、宗像観光協会等各位のご協賛を頂き、かつてないほどの参列者で盛況裡に執り行いましたし、十一月一日観郁たる菊香薫る中、今上陛下御即位二十年奉祝祭を斎行、氏子崇敬者ともどもお祝い申し上げます。

更に宗像大社復興期成会事業として永年に亘り取り組んでまいりました「宗像文書」編集事業も最終段階を迎え、第三巻を近々発刊できる運びとなりました。この事業に編集委員として多大なるご尽力を賜りました諸先生方に厚く御礼申し上げます。

一年間春秋の大祭を始め各祭典、諸行事も恙無く執り行うことができました。これも偏に氏子崇敬者、また関係各位のご奉賛の賜物と厚く御礼申し上げますと共に本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様、今年も良い一年をお送り下さいますよう衷心よりお祈り申し上げます。

年頭挨拶

「世界遺産登録と

歴史遺産保護にあたって」

宗像市長 谷井 博美



輝かしい平成二十一年の初春にあたり、皆様におかれましては健康やかに新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より私の市政運営の基本理念であります「元氣な市民と、元氣なまちづくり」に対し、温かいご理解とご協力を賜り、改めて感謝を申し上げます。

さて昨年を顧みますと、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界遺産国内暫定リストに記載され、世界遺産登録に向け、大きな一歩を踏み出すことができました。このことは、本遺産群の崇高で普遍的な価値が、国内において改めて高く認められた所以であると考え、また宗像市内外問わず多くの人々が待ち望んでいたことであっただけに、大変喜ばしい出来事でありました。これもひとえに、宗像大社が今もなお受け継がれる信仰を守り続け、本遺産群の世界遺産登録活動に対し、ご理解とご協力をいただいている賜物であると、改めて

深い敬意を表するものであります。

そしてこの暫定リスト記載を大きな契機とし、今後も引き続き世界遺産登録に向け、福岡県、福津市、宗像市が一体となって、活動に取り組んでまいりたいと考えております。特に、世界遺産登録に必要な顕著な普遍的価値の証明や、文化庁から与えられた課題の解決など、世界遺産登録に向け、更なる学術的な調査研究が必要であります。したがって、宗像大社をはじめとし、専門家並びに関係機関のご意見並びにご助言をいただきながら、一つずつ解決の糸口を模索してまいりたいと考えております。さらには、世界遺産登録の最大の目的である本遺産群の保全保護のため、県民の皆様を中心に、本遺産群の価値や素晴らしさを知っていただき、そして後世に残し、引き継いでいくために広範な啓発活動にも注力してまいりたいと考えております。

そして、これら世界遺産登録活動に対し、さまざまな局面において宗像大社と密接に連携をとりながら、活動の展開に拍車をかけてまいりたいと決意を新たにいたしているところであります。このようなおことからも、宗像大社におかれましては今後も引き続き、世界遺産登録活動並びに本遺産群の保全保護に対し、温かいご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。第であります。

終わりに、本年平成二十一年も宗像大社並びに御崇敬の皆様におかれまして、更なるご繁栄の年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



GA

画像情報企業

株式会社 ゼネラルアサヒ

〒812-0064

福岡市東区松田3丁目777番地

TEL 092-611-8311

FedEx Kinko's
Office and Print Services

GA

デジタルグラフィックス研究所
宗像市アスティ1丁目5番地

年末年始 特別警戒出陣式

十一月二十六日午前十時三〇分より当大社第一駐車場
で、宗像警察署による年末年始特別警戒出陣式が行われ、一日警察署長としては、来福し宗像市に部屋を構えた武蔵川部屋の出島関が動めた。
例年、この時期は金融機関を狙った犯罪等凶悪事件、また交通事故が多発しており、その防止にと諸団体が警察署



と一体となり、防犯運動の強化に取組んでいる。
当日は、宗像警察署より警察官五十名に加えて、パトカー、白バイ、地元有志により防犯を目的に結成されている「ふくろう部隊」、交通安全協会等関係団体が参加した。

式典は宗像地区消防本部による勇ましい「防火太鼓」によって始まり、一日警察署長、谷井宗像市長らが視閲、署員らは緊張した面持ちで街頭へ警戒活動に繰り出していた。出陣式後は、武蔵川部屋力士によって餅つきが行われ参拝者等に振舞われた。



玄海中学生浦安舞披露

十一月二十一日、玄海中学校でブルガリア共和国の新体操クラブチーム「レフスキー」九名との交流会が行なわれ、同中学校の女子生徒が例年当大社春秋大祭で奉奏している「浦安舞」を披露した。

この交流会は日本とブルガリアの伝統文化の交流、異文化理解を図る為に昨年から行なわれるようになり、当日は当大社からも神職三名、巫女三名が出向。和琴、龍笛、箏、太鼓の生演奏で行なわれ、ブルガリアの学生はもとより、玄海中学校の学生、教職員らも興味深く見入っていた。



披露を終えると、新体操の盛んな囃らしくブルガリアの学生達は新体操を披露し、会場全体がその素晴らしさに圧倒された。

お互いの国の披露が終わると、ブルガリアの学生らから「十二単支」を身につけたいとの申し出があり、舞の真似をしたり、写真を撮るなど、珍しそうであった。

この交流会が今後も続き、お互いの友好関係さらに深まることを切に祈る。

西日本新聞社は、
地域づくりの
先頭に立ちます。

大きな
文字



 西日本新聞社

<http://nishinippon.co.jp/>

本社 福岡市中央区天神1丁目4番1号 〒810-8721
TEL 092(711)5555(代) FAX 092(711)5152
東京支社 東京都中央区八重洲2-8-7福岡ビル 〒104-0028
TEL 03(3273)8585 FAX03(3273)8586
大阪支社 大阪市中央区北浜3-1-21松崎ビル 〒541-0041
TEL 06(6202)6351 FAX06(6202)6356
北九州支社 北九州市小倉北区田町19-5 〒803-8515
TEL 093(561)1131 FAX093(561)7793

第三十七回宗像大社短歌大会

一般の部二二三首
小・中・高生二二三首の応募

宗像大社短歌大会
実行委員会
野間 精一

第三十七回宗像大社短歌大会(実行委員会主催・毎日新聞社共催)は、十一月二十二日(土)宗像大社・清明殿で行われた。

午前の部(小中高生の部)は午前十時から、冒頭宗像大社高向権宮司より言葉の力ということで示唆に富むお言葉があり、桜川冨子先生の選評の後、表彰式が行われた。

今回の応募作品数は、「小学生の部」七二首、「中学生の部」四四首、「高校生の部」一一〇七首、計二二三首、(前年比

一九五首増)であった。一般の部は午後十二時二〇分〜同四時まで、青木昭子先生の講演「表現の多様性」の後、野田光介、桜川冨子、青木昭子、中西輝磨の四先生の選評が行われた。

今回の応募作品数は二二三首(前年比一三七)であった。県知事賞の今泉洋子氏、県教育委員会賞の山崎碧氏は、昨年に続いての連続受賞となった。また、受賞生徒と保護者の皆様の笑顔が、大変印象的な大会であった。

宗像大社境内の菊展示場に灯り点りぬ

短歌会終わし大社の境内の菊展示場に灯り点りぬ



主なる受賞者は下記の通り

福岡県知事賞	今泉 洋子 (佐賀市)
福岡県教育委員会賞	甲斐田綱代 (八女市)
宗像市長賞	山崎 碧 (福岡市)
宗像市教育委員会賞	山崎 碧 (福岡市)
毎日新聞社特別賞	金子 静子 (下関市)
宗像大社宮司賞	山崎 公俊 (福津市)
宗像大社氏子会賞	今泉 洋子 (佐賀市)

宗像大社刀剣展閉幕

去る十一月一日から十二月一日まで、当大社神宝館において「宗像大社刀剣展」が行われた。今回で二十一回を数える刀剣展は西日本菊花大会に併せて毎年開催されており、今年も宗像地域を中心とした刀剣愛好家の皆様の格別なるご協力の下、六十振の刀剣、様々な刀装具を一堂に紹介するすばらしい展覧会となった。

主な展示品は江戸時代以降を中心とした当大社への奉納刀と、全国各地の名工の手による鎌倉後期以降の古刀、新刀、現代刀などで、内容は相模国、美濃国、山城国、大和国、備前国の刀、脇差、短刀や五ヶ伝の流れを引くものとした。さらに、精緻で豪華な装飾をもつ小柄、こが、鍛、目貫などの刀装具も数多く展示した。今回、備前刀と薩摩刀は地鉄の様子を楽しんで頂けるよう上から接近して鑑賞できる展示ケースに陳列するなど、展示方法を工夫したこともあり、愛好家だけでなく刀剣に馴染みのない一般の方にも興味を抱かせる展覧会となった。期間中、一三七五名の方に来館賜りまさに盛会となった。ご尽力賜った皆様にご心より御礼申し上げます。



御礼申し上げます。

あなたのいちばんに。 FFG 福岡フィナンシャルグループ

明けましておめでとうございます。
今年もよろしく
お願いいたします。



福岡銀行

宗像支店 宗像市東郷5-4-5 TEL 0940-36-2017 赤間支店 宗像市土穴2-1-17 TEL 0940-33-7211

第12回
中堅社員研修・宗像研修 研修所感
 出光興産株式会社 人事部教育課

十一月二十八〜三十日までの三日間、今年二回目となる第十二回中堅社員研修の宗像大社研修を実施させていただき、国内各事業所の社員三十五名と、国外からはオーストラリアの駐在社員一名の総勢三十六名が参加致しました。

宗像大社研修は「日常生活と離れた神域に身をおくことで感性を



神職から指導を受ける研修生

高めること」「創業者・店主出光佐三が多大な影響を受け経営の原点とした日本特有の伝統文化に触れその思いを感じ取ること」の二つを目的に行わせて頂いています。

研修開始に際して、まず本殿での研修開始奉告祭を執り行い、神島宮司から「神道の考え方は出光興産の理念の根幹を成しているものであり、また日本人の精神の根幹である。宗像研修においてその考え方について学び、体感をして欲しい。」とお話しをいただき、参加者は心を新たに研修に臨みました。

研修では神職の方と同じように奉仕させていただくために白衣白袴の着方、祭式作法からご指導頂きました。ほとんどの参加者が初めて経験することですが、懇切丁寧にご指導いただき、神域に身を置いているという実感が高まってきました。

この後、二泊三日のスケジュールの中、境内清掃・日供祭・神宝館見学・宗像大社の御由緒の説明・中津宮参拝・高宮での鎮魂と本当に



中津宮を参拝する研修生一同

多くの経験をさせていただきましたが、研修生にとってはどれも非日常的な経験であり、日本精神の中心である神道について深く考え、それぞれの生き方について考える大きなきっかけになりました。

研修生の声として一番多かったのは、「神職の皆様との懇談の時間をもっと多く取って欲しい」というものでした。班に分かれ、それぞれに神職の皆様に入っていたいただき懇談をする場でしたが、神職の皆様への飾りの無いお話(神様への気持ち)から日常生活に至るまでにより、神道や宗像大社について理解が深まったというのがその理由でした。

他にも「非日常体験により、日常業務との連続性を断絶し、自らを省み、研修に臨む準備が出来た」

エアコンの
取付工事も
OMAKASE!

お風呂やトイレ
配管工事も
OMAKASE!

キッチンの
リフォーム工事も
OMAKASE!

床暖房の
工事も
OMAKASE!

住まいのことなら、何でもおまかせ。

九電工

本社:福岡市南区那の川1-23-35 〒815-0081 TEL 092-523-1691 <http://www.kyudenko.co.jp>

「出光理念の基礎となる宗像大社を知ることで、今後の研修に対する気持ちが高まった」等の感想が寄せられました。宗像大社で研修させていただく意義が十分伝わっていることが確認できました。

また、中には「自分と家族、会社、そして出光と日本の関係を見直すきっかけになった」と自分の生き方にまで思いを馳せた感想もありました。

あいにくの天候の三日間でしたが、その中でも研修生の事を親身に考えお世話いただきました宗像大社の皆様には心より感謝申し上げます。

最後に、宗像大社の益々のご繁栄をお祈り申し上げ、研修の所感とさせていただきます。



現役人事部長増田裕一氏



同様に挨拶される東河原次長



同様に挨拶する神島宮司

節分祭の御案内



日 時 2月3日(火)
分 祭 11:00~
場 所 本殿
豆 ま 11:30~
 14:00~
場 所 本殿横 特設舞台



New

交通安全
みずひき
水引アームお守り

宗像大社では、「水引お守り」が交通安全の車両用お守りとして、最も多くの皆様にお受けいただきておりますが、その次に授与数を誇るのが、車中で揺れないようプラスチックのアームの付いたお守りです。

この度、水引お守りの意匠でアームの付いたお守りをつくってほしいとのご要望にお応えし、「水引アームお守り」の授与をしております。

本殿・祈願殿授与所でお受けいただけます。

正面

横

謹賀新年

新しい年が素晴らしい一年となりますよう
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

2009年元旦



ダイドードリンコ株式会社
九州支店
092-663-2171

ダイドードリンコ株式会社
福岡南営業所
092-574-4642

ダイドードリンコ株式会社
福岡東営業所
092-663-2310

ダイドードリンコ株式会社
北九州営業所
092-621-3741



沖ノ島の鳥たち

「小屋島のヒメクロウミツバメ」

岡部海都(オカベヒロト)
 (財)九州環境管理協会研究員
 満39歳、昭和44年(1969)2月生れ。宗
 俣市在住。昭和64年(1989)から鳥類標
 識調査を始める。平成4年(1992)から
 (財)九州環境管理協会に勤務。鳥類等
 種々の陸生生物の調査に従事。日本鳥類
 標識協会、日本野鳥の会などの会員

沖ノ島の属島である小屋島には、
 カンムリウミスズメとヒメクロウミ
 ツバメという2種類の貴重な海鳥が
 繁殖のため訪れます。今回はこれら
 のうち、ヒメクロウミツバメを紹介し
 ます。

ヒメクロウミツバメは、アホウドリ
 や沖ノ島で繁殖しているオオミスナ
 ギドリと同じミスナギドリ目の、ウ
 ミツバメ科に属する海鳥です。ウミ
 ツバメ類は海洋に生息する海鳥の中



草地でヒメクロウミツバメの巣穴を探す

では最も小型のグループで、海鳥の
 なかの「小鳥」と言える存在です。世
 界中の海域に生息しており、約20種
 が知られています。多くの種は全身
 暗褐色で、大きさや腰の色、尾羽の
 形などが異なりますが、どれもよく似
 ている。海の上では識別が難しいグル
 ープです。外洋に生息し、水面上に浮
 いている甲殻類やプランクトン、小
 魚などを、海の上を歩くように飛び
 ながら嘴でくわえ捕ります。飛んで

れています。この名前は水の上を歩
 くことができたという聖ペテロに例
 えての名前と言われており、水面上
 を歩くようにして餌を探るウミツバ
 メの習性を反映した名前となってい
 ます。

ヒメクロウミツバメが繁殖するの
 は日本、韓国、ロシアおよび中国の
 無人島で、冬はインド洋に渡るとさ
 れていますが、詳しいことはよくわか
 っていません。日本では小屋島の他

に岩手県三貫島、東京都
 八丈小島、石川県七ツ島
 大島、京都府杵島、島根
 県隠岐星神島などが繁
 殖地として知られていま
 す。継続的な調査が行
 われている所は小屋島以
 外にほとんどなく、生息
 数も把握されていないの
 が現状です。繁殖地が限
 定されており、そのいづれ
 の場所でも生息数が減
 少していると考えられる

いる姿がツバメに
 似ていることから、
 日本では「ウミツバ
 メ」と言われてい
 ますが、英語では
 Petrel(ペトウレル)
 という名前で呼ば

【授与品と装束】



京都奉製株式会社

本社営業所 京都市左京区静市市原町1291-25

電話 (075) 741-3221

フリーダイヤル 0120-164124

福岡営業所 福岡市博多区板付5-3-11

電話 (092) 592-3015



ことから、絶滅のおそれがある動物のリストである環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種)として掲載されています。

ヒメクロウミツバメは、小屋島中央部のヒゲスゲ群落に覆われた岩の隙間で繁殖します。カンムリウミスズメも同じ巣穴で繁殖しており、カンムリウミスズメが巣立った後の5月下旬頃、ヒメクロウミツバメが小屋島に飛来します。岩の隙間の穴の中に簡単な巣を造り、大きな卵を1個だけ産みます。抱卵は雌雄とも行いますが、抱卵の交代やヒナへの給餌のために巣穴に戻るのは夜間だけです。夜中、親鳥が小屋島に戻ってくると、「チツチツチツクリ」と巣内の相手と鳴き交わしを行い、鳥はとてもしぎやかに戻ります。昼間は餌を求めて海上を飛び回っているはずなのですが、沖ノ島周辺の海上ではほとんど見られません。よほど遠くに飛んでいつているのか、広い海上で小さな鳥を見つけたのが難しいだけなのか、よ



ヒメクロウミツバメの成鳥



繁殖場所である小屋島のヒゲスゲ草地



ヒメクロウミツバメのヒナ

カンムリウミスズメの調査
足尾を保護する調査員

くわかつていません。ヒナは消化されかけた餌を与えますが、この餌にはストマックオイルという脂肪を多量に含む油が混じっています。この胃内容物は強烈な異臭を放つため、調査のため捕獲した際に吐き出した胃内容物が服に付着すると、臭いは取れなくなってしまう。ヒナは約2ヶ月巣穴の中で成長し、10月ごろ巣立つてインド洋へ旅立ちます。

文献によると小屋島で初めてヒメクロウミツバメが確認されたのは1932年のことで、頂上付近の岩を起すとその度にウミツバメの雛が見つかったという記述が残されています。その後しばらく小屋島のヒメクロウミツバメは忘れ去られたようですが、1962年にカンムリウミスズメの調査のために小屋島を訪れた日本野鳥の会のメンバーにより、繁殖しているのが再発見されました。この時の記録によると、足の踏み場

もないほど多くの巣がみられたようです。その後学術的な調査が行われ、1970年代の小屋島での生息数は約380羽程度と推定されています。ところが1987年の4月、小屋島でカンムリウミスズメの死骸が大量に発見されるという事件が起こりました。調査の結果、原因は何らかの理由により小屋島に上陸したドブネズミによるものとわかり、ドブネズミ駆除対策が行われましたが、同年8月にはヒメクロウミツバメも同様の被害を受け、繁殖コロニーはほぼ壊滅的な影響を受けてしまいました。殺鼠剤等による駆除が功を奏し、1988年にはドブネズミはみられなくなりまし。その後福岡県や環境省により継続的に個体群回復状況把握調査や殺鼠剤の散布が行われ、これらの努力により現在ヒメクロウミツバメの個体数は200〜300羽まで回復しています。

TOYOTA

福岡県トヨタ販売店グループ

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 金子 直幹

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8番28号

電話(092)761-3331

トヨタカローラ福岡株式会社

代表取締役社長 有田 耕一

〒810-8603 福岡市中央区長浜2丁目1番5号

電話(092)712-7111

ネットトヨタ北九州株式会社

代表取締役社長 宮里 宣哲

〒806-0041 北九州市八幡西区皇后崎町14番6号

電話(093)642-2111

福岡トヨペット株式会社

代表取締役社長 山口 正俊

〒812-0008 福岡市博多区東光1丁目6番13号

電話(092)411-1121

九州国立博物館沖ノ島祭祀展示コーナー

第七期展示品を公開

九州国立博物館(以下、九博と表す)の常設展示を展開する文化交流展示室に設けられた沖ノ島祭祀遺跡出土品展示コーナーでは、半年毎に内容を変えて、古代大和政権が深く関った沖ノ島祭祀の意義を説いている。去る十一月十日、展示品の入れ替え作業が行われた。九博での展示は四年目を迎え、



第七期の展示風景

今回で第七期を数える。今期展示品は、中国後漢時代の盤竜鏡、翡翠・碧玉・滑石で作られた優美な勾玉、呪力的な祭祀用具とみられる子持勾玉、大和政権の権威の象徴とされる石鏹や車輪石、朝鮮半島新羅製の馬の鞍金具、国内外で類例のない特殊な形状の須恵器な

ど、合計六十五点。いずれも宗像三女神への篤い崇敬をしのばせる優品である。
また、今期展示品は、九博文化交流展示室で展示中の古墳時代出土馬具との比較品として、さらに来年一月から同室で開催する九州大学筑紫地区発掘調査出土品展示会の出陳品である古墳時代の石鏹の意義を考える参考品として重要なものとなっている。

交通安全 ストラップお守り

今日では高齢者や子供に至るまで、多くの方が携帯電話をお持ちです。そこで近年要望が高いのが、携帯電話にも付けることができるお守りです。交通安全の宗像大社として、自動車、バイク、自転車に加え、近年の御高齢のドライバーや自動車免許を取り立ての方々も意識し、シニアと初心者の四種類を奉製致しましたので、ご紹介致します。初穂料は各種五〇〇円で、本殿・祈願殿授与所でお受けいただけます。

- 自動車
- バイク
- 自転車
- シニア
- 初心者

初穂料 五〇〇円



謹んで新年の御祝詞を
申し上げます
平成21年 元旦

株式会社 **ハーベスト警備**
福岡県公安委員会認定第581号
代表取締役 坂上 正晴
〒813-0044 福岡市東区千早5丁目21-2サンビル2F
TEL (092)673-0180 FAX (092)673-0190

 **福岡ダイハツ販売株式会社**
代表取締役社長 内山 邦彦
〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目10番11号
電話(092)411-1330【代表】

理容とんぼ
〒811-3436
福岡県宗像市東郷5丁目5-10
TEL (0940) 36-2405



 **日本自動車連盟 九州本部**
本部長 金子 宜嗣
〒814-8505 福岡市早良区室見5-12-27
電話(092)841-7676【代表】

 **玄海ゴルフクラブ**
玄海灘を望む風光明媚な格調高いシーサイド・コース
〒811-3502 福岡県宗像市江口578-18
電話(0940)62-2233【代表】
FAX(0940)62-2728



干支はりこ

新しい干支縁起物

干支絵馬

木型に紙を貼り、乾いてから型を抜き取ったものを「張子(はりこ)」と申します。

張子は動物や達磨、また幼児の玩具として親しまれてきました。おなじみの方も多いのではないのでしょうか。そんな張子の干支を本年から縁起物として授与致します。

張子の中に鈴の入った「紙音」、干支の丑が破魔矢を持った「破魔矢丑」、首の部分が動く「首振り丑」の三種類です

絵馬は本来神社に奉納する馬絵の額ですが、後に祈願や奉謝の気持ち、或いは時代の象徴として様々な画題が描かれるようになりました。

今日では神前に捧げるばかりでなく、^{あん}安寧の願としてご家庭、職場でもほう奉齎^{ほうろう}いただいております。

本年新たに奉製したこの「干支絵馬」は、今年の干支「丑」をモチーフに、縁起の良い白い牛に、子孫繁栄の願いを込め親子で描かれています。

裏面に願い事を記し、境内「絵馬堂」にお掛けいただいても結構ですし、(大)は箱入りで、木製の足も付いておりますので、ご家庭や職場で奉齎し平穏な幸多き一年をお過ごし下さい。



干支張子(首振りうし)
初穂料 1,000円

干支張子(破魔矢うし)
初穂料 700円



干支張子
(紙音・鈴入り)
初穂料 500円



いずれも、本殿・祈願殿授与所でお受けいただけます。すし、新春「福みくじ」でも景品として当たります。



干支絵馬(大)箱入り・足付
初穂料 1,000円



干支絵馬
初穂料 500円

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

玄海国立公園の中心
—風光明媚、生魚料理、宗像大社となり—
玄海ホテル旅館組合

国民宿舎ひびき ☎ 〇九四〇 六二一〇二八八	みなと荘 ☎ 〇九四〇 六二一二二五五	松風荘 ☎ 〇九四〇 六二一〇二二〇	はなわらび ☎ 〇九四〇 六二一〇一〇七	高嘉旅館 ☎ 〇九四〇 六二一一二二二	神湊スカイホテル ☎ 〇九四〇 六二一三三〇〇	玄海ロイヤルホテル ☎ 〇九四〇 六二一四二二二	玄海旅館 ☎ 〇九四〇 六二一〇〇〇一	魚屋別館 ☎ 〇九四〇 六二一三三五五	魚屋本店 ☎ 〇九四〇 六二一一二二二
------------------------------	---------------------------	--------------------------	----------------------------	---------------------------	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------

第五六九回 宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日ノ切



宗像市 田久 卷 桔梗
車椅子しまし止めさせ懸崖の菊みる翁の背が直ぐに伸ぶ
「背が直ぐに伸ぶ」がいい。やや頑固で菊に一言居士を持つ姿を活写している。

福津市 若木台 野間 精一
見事なる朝倉柿がとどきたり大き紅葉二枚も添へて
添えられた紅葉に、風流を愛する友を持つ幸にゐる作者の姿が見える。

北九州市 八幡西区 吉田ウト子
夕光に袖の朱のいよ濃く漁待つ女人が振る腕ふとし
原鶴の鶴飼舟だろわか、美しい風景と逞しさが盛られた一首。

宗像市 田久 井上 光
喪中がき八運来たりし霜月の風の冷たさ老いの身に沁む
今年の異常気象のせいか私の処にも例年に無く多くの喪中がきが届いた。老いが身に沁む今年であった。

福津市 中央 池浦千鶴子
二駅を列車の中につま立ちぬ衰え来たる足を思ひて
このままでは満員の車内での出来事のようにであるが、結句を「足鍛へむ」と、すると違った展開となる。

北九州市 戸畑 田中ハツセ
三月振り研究会に顔を出す杖つく身なれど頭はたしか
まだまだわかい者には負けないよ、とする自励のうたでもある。

福津市 光陽台 香月 照子
わくら葉が杖つきあるくわれの前風にとびゆく季節となりぬ
こちらは、老いは古い、季節は季節と自然体に生きている香月さんである。

宗像市 田野 森 甲子
なぜ絶へぬ飲酒運転に十六歳引きずられ死す新聞配りは
気持は判るが、やや事実に付き過ぎた処が惜しい。

うきは市 浮羽町 向 則正
コンバインに稲刈終へて田の畔に山ながめつつ用足す男
はればれとする用足し、男ならではの快感である。

宗像市 日の里 大和美由紀
小鳥鳴く山の畑に夫と来て紅き色したさつまいも掘る
家庭菜園だろわかゆつたりとした老夫婦の姿が詠われている。

宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子
み社に先づ手を合せ菊花祭の黄菊白菊尋ねて巡る
西日本一と言はれる大社の菊花展も社あつてのことであり氏子らしい観菊である。少し淡いのが残念。

福岡市 南区 加野シノブ
大輪の白菊そだつ秋の日よじつと見つめる老のやすらぎ
菊の花にやすらぐ己を素直に詠っている。

福岡市 南区 井田有久衣
幾星霜夫と暮した陋屋に今吾れ一人来し方しのぶ
初句は三十年とか四十年とか、具体的に述べた方がいい。

北九州市 八幡西区 豊田 光子
味噌倉に亡母の寝かせし瓜漬けのまろく熟れたる樽の封解く
なつかしい母の味である。封を解くのだから下句は「樽の封解くまろく熟れをり」がいいのでは。

宗像市 自由ヶ丘 一本 照代
母逝きて心にももる料理には二度と作れぬ巻ずしの味
これも母の味。結句は母が過去に作ったのだから、四句は「二度とは会えぬ」がいい。

福津市 花見 佐藤 純一
エースには一魂一球をマウンドにグローブはめし甲子園行く
「エース汝は一魂一球と書きしるすグローブをはめ甲子園に行く」としないと原作のままでは意味が通らない。

選者詠

不意にして目覚しは鳴る入院し妻のをらざる闇の部屋より
明け暗れを短く鳴きぬかなかなはこの世のなにかき消すやうに
豆腐を冷凍庫に入れ凍らせしことも突止や留守を守りて

第五四四回 俳句作品集

宗像市 日の里 花田いつ枝
冬風ぎの水尾煌めけり定期船
宗像市 平井 占部 詩子
わが町の夜景全き十三夜
宗像市 田久 卷 桔梗
外つ国の人が見返る七五三

1月祭事暦

10日 恵比須神社祭 午前11時	1日 歳旦祭 午前7時 総社地主祭 午前9時 総社祭 午後1時 総社祭に引き続き 高宮地主祭 高宮宮・第三宮祭 高宮宮・第二宮祭 末社祭
13日 献米奉告祭 午前11時	2日 新年祭 午前9時
15日 月次祭・成人祭 午前10時 高宮祭 午前11時 高宮宮・第三宮祭 午後11時 総社祭・成人祭	3日 元始祭 午前9時 午前10時 宗像護国神社新年祭

編集後記

本年は己丑(みせう)です。己丑は草木が繁茂し、整然としている状態。正しい道筋をつけるの意。「丑」は「紐(からむ)」から生まれたもので、芽が種子の内部でまだ伸びることができない状態を表しているそうです。己丑は様々な難問を整理し、正しいものを芽吹かせるための年のようです。よく吠えた戌年から始まった試みは、猛進した亥年を経て、昨年の子年は、実現のためとはいえあまりにも活動的過ぎた一年でした。丑年の今年も、周囲に配慮したゆつたりとした気持ちで神明奉仕に勤めたいと思います。本年もよろしくお願ひ申し上げます。(塚)

宗像大社社務所
宗 像 会
発行所

〒811-3505 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311 (代)
発行人 藤津幹之
編集人 大塚宗延
制作 セネラルアサヒ
印刷 セネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共1,000円